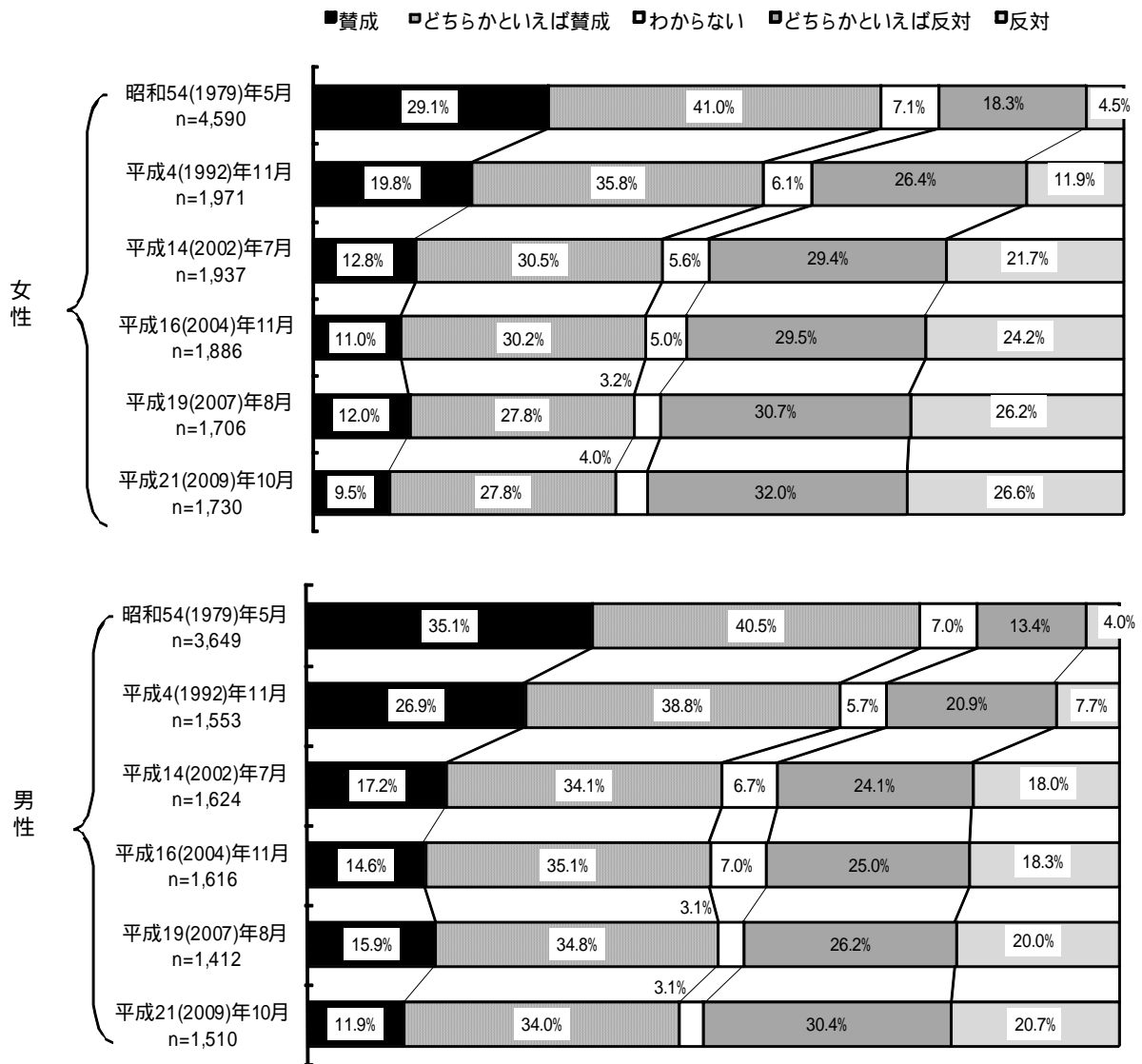


意識の変化

1. 性別役割分担意識

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という性別役割分担意識は昭和 54 (1979) 年の全国調査では、男性の 75.6%、女性の 70.1%が賛成をしていたが、女性では平成 14 (2002) 年調査で反対が 51.1%となって、初めて賛成を上回り、平成 21 (2009) 年調査では反対 58.6%となっている。男性も平成 21 (2009) 年調査で反対が 51.1%と初めて賛成を上回った。

図表 - 1 - 1 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方についての意識の推移(全国)

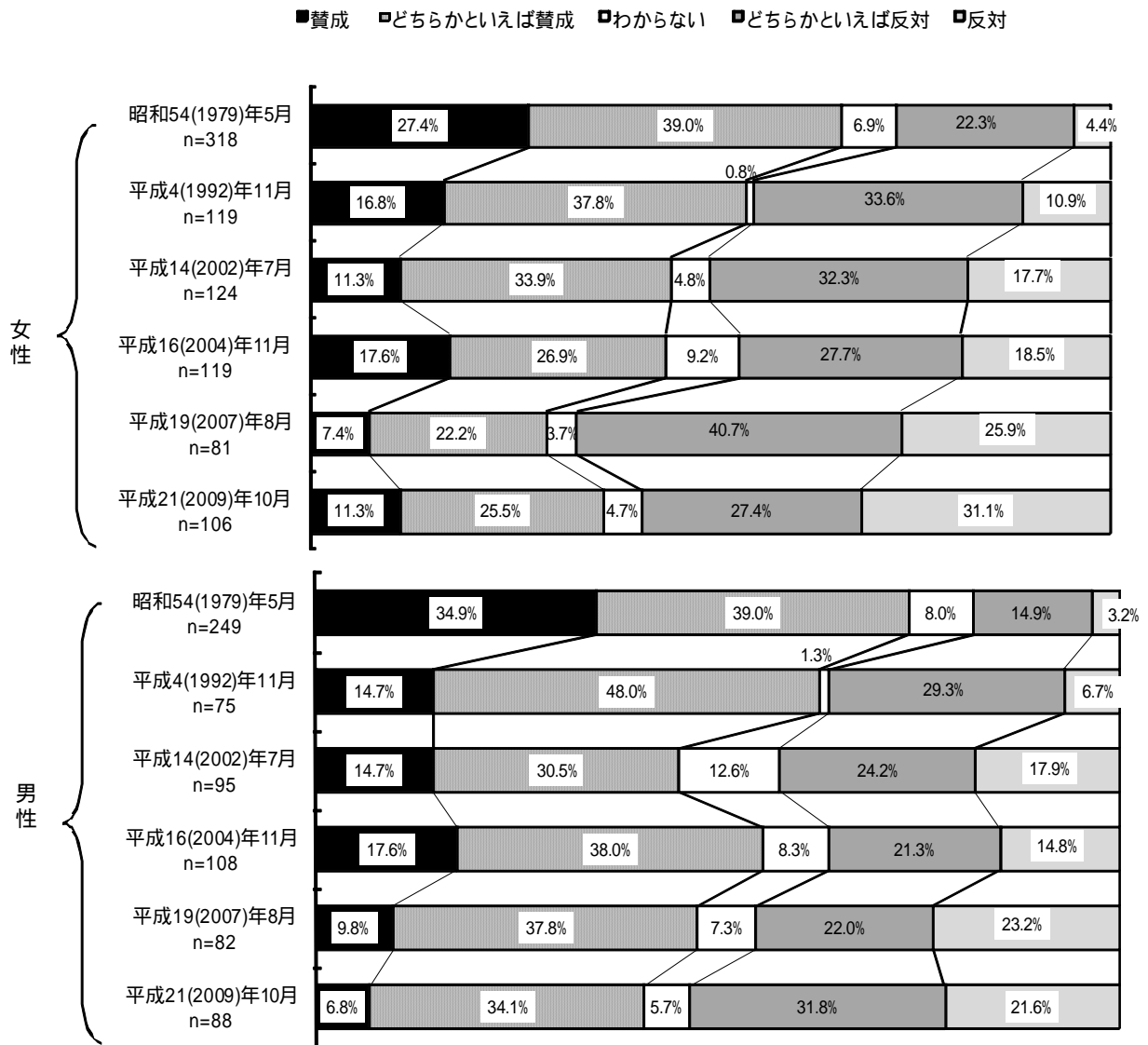


資料：総理府「婦人に関する意識調査」(昭和 54 年) 総理府「男女平等に関する世論調査」(平成 4 年)  
内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」(平成 14, 16, 19, 21 年)

女子差別撤廃条約採択から30年の東京の男女の現状

都の特別区における、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という性別役割分担意識は昭和54(1979)年の調査では、男性の73.9%、女性の66.4%が賛成をしていたが、女性では平成14(2002)年調査で反対が50.0%となっていて、初めて賛成を上回り、平成21(2009)年調査では反対58.5%となっている。男性も平成21(2009)年調査で反対が53.4%と初めて賛成を上回った。

図表 - 1 - 2 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方についての意識の推移(都・特別区)



資料：総理府「婦人に関する意識調査」(昭和54年) 総理府「男女平等に関する世論調査」(平成4年)  
内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」(平成14,16,19,21年)